

V. 特記事項

1. ダイバーシティ推進宣言

建学の精神に基づき、学生・教職員をはじめとする本学の一人ひとりが、自らを見つめ、自らを信じて未来へと歩む行動力ある人となり、あらゆる人を尊び、多様性を包摂する社会の実現に資する大学となるため、平成 31(2019)年 4 月に「筑紫女学園大学ダイバーシティ推進宣言」を学内外に公表した。この宣言に基づき、学内の修学・教育・研究・就業のあらゆる面からジェンダー、年齢、国籍、人種、民族、出自、文化、言語、宗教、障がい、病気、セクシュアリティなどを理由とする不自由や差別、排除をなくすべく、大学におけるダイバーシティ推進への歩みを進めている。

令和 4(2022)年度においては、12 月に「第 4 回 CJ ダイバーシティマンス」として、以下の取り組みを行った。

令和 4 年度「ダイバーシティマンス」の取り組み

日程	企画内容	主催
11 月 30 日	「発達障害は個性か否か？」	人権委員会（大学総務班）
12 月 3 日	「生きづらさを抱える少女の居場所づくり」	学生サークル「LYKKE」
12 月 6 日	「生理の貧困」 ～女性を取り巻く環境について考える～	学生サークル「LYKKE」
12 月 7 日	インドの競争社会・教育から多様性を考える 映画上映会	仏教研修生・インド映画を見る会 （人間文化研究所）
12 月 8 日	「男性学・男性性研究から考えるジェンダー平等 ～多様性を活かす組織と働き方～」	女性活躍支援センター
12 月 10 日	「Mari kita mencoba! 多様性の国インドネシア を体感する音楽・舞踊ワークショップ」	英語学科
12 月 12 日～ 12 月 16 日	留学フェア （短期海外研修参加学生による報告会等）	国際交流センター
12 月 14 日	「深層的ダイバーシティ」を考える映画上映会	仏教研修生・インド映画を見る会 （人間文化研究所）
12 月 14 日	「ドリアンと考える“普通”と“らしさ”」 ショー&講演会	「筑紫女学園大学におけるマイノリティ 支援とダイバーシティ推進のあり方につ いて」研究会
12 月 21 日	多様性（カースト問題）を考える映画上映会	仏教研修生・インド映画を見る会 （人間文化研究所）

2. コロナ禍における学生への支援

令和 2(2020)年度以降、今日に至るまで、新型コロナウイルス感染症による学生への影響に対して、奨学金などの経済的な支援や授業（遠隔授業）支援のみならず、日常生活に寄り添う支援を実施している。具体的には、同窓会「紫友会」や連携協定先である企業・団体等の協力を得ながら、アルバイト収入・仕送り等の減少により食事や物資調達に困っている学生を対象に、食糧支援や物品支援を行っている。